

保育者がもつ「自律的な子」概念

北川歳昭 (教育心理学科), 梶原彰子 (こころクリニック), 宮川洋子 (初等教育学科)

The Concept of “Autonomous Child” grasped by Teachers in Nursery Schools

Toshiaki KITAGAWA (Department of Educational Psychology),
Akiko SUGIHARA (Kokoro Clinic) and
Yoko MIYAKAWA (Department of Elementary Education)

抄 録

教育の目標である自律性の概念について、その具体像を明らかにするために、保育者が抱く「自律的な子」の概念を質的及び数量的に検討した結果を報告する。第1研究では、保育者3人へのインタビュー調査より「自律的な子」「他律的な子」に関する特性をまとめ、それらを知性・情意性・社会性の軸の上に位置付けた。第2、第3研究では、第1研究で得られた42特性項目からなる質問紙調査を49名の保育者に実施し、「自律的な子」「他律的な子」の特性イメージ(第2研究)と、「自律的な子」に関する概念の因子構造(第3研究)を明らかにした。3つの研究から、保育者が抱く幼児の自律性概念は、知性、情意性(動的、静的)、社会性(道徳性)の要素から構成されていると考察した。

キーワード：幼児，自律性，他律性，保育者